

Lesson  
2

## Curry Travels around the World

(カレーは世界中を旅する)

## 本課のねらい

本課では、日常的に食しているカレーが、どこで、どのように発祥し、どの経路を経て日本へ、そして世界へと広がっていったのかを時系列に沿って説明している。食の広まりはしばしば歴史の出来事と関係するが、カレーもまた例外ではなく、イギリスのインド植民地政策や日本の明治以来の洋風化などが関わっている。生徒たちはこれらを中学の歴史の授業で習ったかと思われるので、カレーの広まりという視点から異文化間の接触を捉え直すこととなり、従来と違った見方で歴史をみる面白さを感じてもらえるかも知れない More Information ではアイスクリームの広まりを紹介しているが、やはり歴史の出来事が関わっている。

ちなみに本文はプレゼンテーションの形式をとっている。展開の仕方や言葉の使い方と参考にしていただきたい。

## 本文について

	語数	概 要
Part 1	108 語	カレーといえばインドを連想するが、インドにはカレーという名の料理はない。肉や野菜をスパイスで煮込んだインド料理をイギリス人がカレーと呼び始めたのだ。
Part 2	144 語	1772 年、インドからカレーのレシピがイギリスに持ち込まれて大成功した。19 世紀初頭にはカレー粉が作られ、イギリス全土にカレーが広がった。また、イギリスのカレーは小麦粉を使いより濃く作られた。
Part 3	146 語	明治時代初期、イギリスのカレーが日本にやって来た。当時のカレーは大変高価で、長ネギやカエルが具材に使われていた。明治時代後期以降、カレーは兵食に採用された結果、日本中に広がった。
Part 4	129 語	日本ではたくさんのカレー関連食品が発明されたが、カレールーとレトルトカレーは海外にも輸出され最も成功を収めた。インド生まれのカレーはイギリスから日本に渡り、今や世界中で食べられている。

## 参考文献

- 井上岳久『カレーの雑学』、日東書院、2007 年  
 井上岳久『カレーの世界史』、SB クリエイティブ株式会社、2020 年  
 井上宏生『日本人はカレーライスがなぜ好きなのか』、平凡社、2000 年  
 コリーン・テイラー・セン『カレーの歴史』、竹田円訳、原書房、2013 年  
 水野仁輔『カレーライスの謎』、角川 SS コミュニケーションズ、2008 年  
 吉田よし子『カレーなる物語』、筑摩書房、1992 年

## LESSON

## 2

Curry Travels  
around the World

## Activator

Do you know where curry came from?



Curry's route to Japan



24

## 扉

## 解説

レッスンの導入ページ。写真でイメージを膨らませ、Activator やタイトル横の図を使って話題に入りたい。Listen&Talk ではレッスン内容に関連した話題のリスニング問題とそのリスニングを踏まえて簡単なやりとりを行うための問いを設けている。

## Activator

## 〈解説〉

本文内容に関連した問いを1つ設けている。クラス全体に問いかけても、ペアワークをさせてもよい。扉活動の時点では生徒が明快な答えを出す必要はなく、自分の予想や考えを話し合い、本文を読む動機付けとされたい。

## 〈訳〉

あなたはカレーがどこからきたか知っていますか。

## 〈回答例〉

Yes, it's from India. / Yes, I do. / No, I don't.

## タイトル右横の図

カレーがインドで発祥してイギリスに渡り。そして日本に入ってきたルートを矢印で示した地図。カレー発祥地がインドであることはほとんどの生徒が知っていると思われるが、イギリスを経由して日本に入ってきたことには驚くかもしれない。

## Listen &amp; Talk



Listen to the conversation between John and Mika. Then, answer the questions below.

## 1. What kind of curry will Mika make for dinner?

She will make ...

- A vegetable curry.
- B beef curry.
- C chicken curry.

## 2. What does John's family put in their curry?

They put ...

- A chicken, potatoes, carrots, onions, and honey.
- B chicken, potatoes, carrots, mushrooms, and chili peppers.
- C beef, potatoes, carrots, onions, and chili peppers.



Make pairs and share your ideas with your partner. You can use the phrases in **Focused Function**.

- ☐ Which is your favorite kind of curry, hot curry or mild curry?
- ☐ What do you put in your curry?

## Your partner's ideas

.....

.....

.....

.....

## Focused Function

相手の好みを尋ねる・感想を述べる

- What's your favorite food?
- That sounds great.
- It looks like a spicy curry.

25

## 写真

ポットに入ったカレーの写真。

## Listen &amp; Talk

## リスニング

## 〈訳〉

ミカとジョンの会話を聞きましょう。その後で下記の問いに答えましょう。

## 1. どのような種類のカレーをミカは夕食に作るつもりですか？

彼女は…を作るつもりです。

- A 野菜カレー
- B ビーフカレー
- C チキンカレー

## 2. ジョンの家族はカレーに何を入れますか？

彼らは…を入れます。

- A 鶏肉, ジャガイモ, ニンジン, タマネギと蜂蜜
- B 鶏肉, ジャガイモ, ニンジン, キノコと唐辛子
- C 牛肉, ジャガイモ, ニンジン, タマネギと唐辛子

## 〈スクリプト〉

John: Hi Mika. Are you shopping for dinner?

Mika: Yes. I'll make beef curry for dinner tonight. Sometimes I cook dinner for my family.

John: Sounds nice! Are you going to put anything else in your curry?

Mika: Yes, I am. I'm going to put potatoes, carrots, onions, and chili peppers in it.

John: Chili peppers? That sounds hot!

Mika: Yes, but it is delicious. What about you? What is your favorite kind of curry?

John: My favorite is chicken curry. In my family, we usually put potatoes, carrots, and onions in it.

Mika: That's similar to the curry I'll make tonight.

John: Yes, but we also put some honey in! We love sweet curry.

Mika: Wow, that sounds too sweet for me.

〈スクリプト訳〉

ジョン：やあ、ミカ。夕飯の買い物？

ミカ：ええ。今晚、ビーフカレーを作ろうと思って。時々、家族に夕飯を作るの。

ジョン：いいね！カレーには他に何か入れるつもり？

ミカ：ええ。ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、あと唐辛子を入れるつもり。

ジョン：唐辛子？辛そう！

ミカ：そうね、でも美味しいわよ。あなたは？好きな種類のカレーは？

ジョン：チキンカレーが一番かな。家では、大体いつもジャガイモ、ニンジン、タマネギを入れるよ。

ミカ：私が今晚作るカレーに似ているわね。

ジョン：うん、でも蜂蜜を入れるんだよ！甘いカレーが好きなんだ。

ミカ：まあ、私にはちょっと甘口すぎるかも。

〈解答〉

1. B

2. A

### ペアワーク

〈訳〉

ペアを作り、あなたの考えをパートナーと共有しましょう。Focused Function の中のフレーズを使っても構いません。

☐ 辛口カレーと甘口カレー、あなたが好きな種類のカレーはどちらですか？

☐ あなたはカレーに何を入れますか？

〈回答例〉

I like curry which has a mild taste.

I put beef, onions, potatoes, and carrots.

### Focused Function

相手の好みを探ねる・感想を述べる。

〈例文訳〉

・あなたの好きな食べ物は何か？

・それはいいですね。

・香辛料のきいたカレーのように見えます。

## Part 1

- Question ① Is there a dish called curry in India?  
 Question ② Who began to use the word "curry"?

stew [stju:] ②  
 various [vɛəriəs] ②  
 spice [spais] ②  
 Tamil [tæmil] ②  
 sauce [sɑ:ks] ②

## TRIVIA

stew 「～を煮込む」  
 とう火で長時間煮込むこと  
 をいう。また、煮込んだ料理  
 (シチュー) のことも指  
 す。ちなみに、「蒸す」は  
 steam、「ゆでる」は boil、「揚  
 げる」は fry を用いる。

Tamil 「タミル語」  
 南インドのタミル・ナードゥ  
 州を中心に話される言語。  
 スリランカ、シンガポール、  
 マレーシアなどにも多くの  
 話者がいる。独自のタミル  
 文字を用いる。

- 1) Hello, there! Today I'm going to talk about curry. When you hear the word "curry," what country do you think of? Yes, India! Many of you know that India is the home of curry. However, do you know that there is no dish called curry in India?
- 2) Of course, there are many dishes similar to curry in India. For example, people often stew meat or vegetables with various spices. However, they do not call such dishes "curry." A long time ago, the British people began to use the word "curry" to explain such Indian dishes. This word comes from "kari," the Tamil word for "a sauce or soup."



Indian people eating "curry"



3. think of A Suddenly, I thought of a good idea. 6. (be) similar to A My shoes are similar to yours.  
 11. come from A My family comes from Britain.  
 G-3 We enjoyed delicious chocolates made in France.

## 脚注英文の訳例

3. 突然、良い考えを思い浮かんだ。  
 6. 私の靴はあなたの靴に似ている。  
 11. 私の家族はイギリスに由来する。  
 G-3 私たちはフランス産のおいしいチョコレートを楽しんだ。

## 本文の解説

1. Hello, there! 「みなさん、こんにちは!」  
 不特定の相手に対して使われる、くだけたあいさつ表現。

1. Today, I'm going to talk about curry. 「今日はカレーについてお話ししたいと思います。」

be going to と will はいずれも「～します、～するつもりです」という〈意志未来〉を表すが、be going to はあらかじめ計画していたこと、科学的根拠に基づくことに用いられる。

It is going to be rainy soon according to the news.  
 (ニュースによればもうすぐ雨になる。)

I will get it.  
 ((突然の電話に)私が出ます。)

2. When you hear the word "curry," what country do you think of? 「『カレー』という言葉聞いたとき、みなさんはどの国を思い浮かべますか。」

think of A は「A(のこと)を考える、(ふつと)思い浮かべる」の意味。think about のように綿密に考えることを意味しない。

3. Yes, India! 「そう、インドですね!」

3. Many of you know that India is the home of curry. 「みなさんの多くはインドがカレーの発祥地であることを知っています。」

many は most of you の most などと同様、名詞として用いられている。この場合の many や most は複数扱い。

How many of you were there?  
 (あなた方のうちの何人がそこにいたのですか。)

the home of の後ろに物、文化などがくると home は「原産地」「発祥地」などの意味になる。

カレーの歴史は古く、9世紀の南インドには、すでにカレーの原形となる料理があったとされている(→補充資料集 p.10)。

4. However, do you know that there is no dish called curry in India? 「しかし、インドにはカレーと呼ばれる料理が存在していないことを知っていますか。」

called は分詞で、分詞句 "called curry in India" が dish を修飾している。

インドには「カレーライス」という一品料理は存在しない。それどころか、「カレー」という料理名も近年になって逆輸入されたものである。

## Part 1

## Oral Introduction

Do you often eat curry and rice? It's a very popular dish in Japan. It's like one of our Japanese dishes. But of course it's not from Japan. Do you know where it is from? You think it's from India, don't you? That's true, but if you say "curry" in India, nobody may understand it. Then why do we call the dish "curry"? There is a story about it. Let's read about it.

## Question

〈訳例〉

1. インドにはカレーと呼ばれる料理は存在していますか。

2. 誰が「カレー」という言葉を使い始めましたか。

〈回答例〉

1. No, there isn't.  
 2. The British people did.

〈本文の該当箇所〉

1. ②p.26, l.4, "However, do you know that there is no dish called curry in India?"  
 2. ②p.26, l.9, "A long time ago, the British people began to use the word "curry" to explain such Indian dishes."



6. Of course, there are many dishes similar to curry in India. 「もちろん、カレーに似た料理はインドにたくさんあります。」

(be) similar to A は「A によく似て(いる)、類似している)」の意味。

7. For example, people often stew meat or vegetables with various spices. 「例えば、人々はよく肉や野菜をさまざまなスパイスと一緒に煮込みます。」

stew は動詞で、「(食べ物)をとろ火で煮る」の意味。ここでは他動詞だが、自動詞の「とろ火で煮える」の意味もある。関連して「(食べ物が)煮立つ」の意味を表す boil についても確認したい。

I stewed potatoes.

(私はジャガイモを煮た)

Potatoes stewed.

(ジャガイモが煮えた。)

The potatoes are boiling.

(ジャガイモがゆだってきた)

various は形容詞で、複数名詞とともに用いて「さまざまな」の意味。spice は名詞で「スパイス、香辛料」の意味。

インドの代表的な料理としてマルバルサンバル、バルタラッチャチキンなどがあるが、これらのレシピは私たちが認識する「カレー」のそれとよく似ている(→補充資料集 p.14)。

8. However, they do not call such dishes “curry.” 「けれども、彼らはそのような料理を「カレー」と呼びません。」

第5文型(SVOC)の文。they は前文の people を指し、people in India のこと。such は前述の人や物を漠然と指して「そのような」の意味。ここでは㉔l.6 の“many dishes similar to curry in India”を指している。

9. A long time ago, the British people began to use the word “curry” to explain such Indian dishes. 「大昔に、イギリス人がそのようなインド料理を説明するために『カレー』という言葉を使い始めました。」

begin to do は begin doing とほぼ同じ意味で用いられるが、厳密には前者は行為の開始に重点があり、後者は行為の継続に重点があるとされる。例えば、It began to rain. では雨がすぐにやんだ可能性も否定できないが、It began raining. では雨がしばらく降り続いたことを含意する。to explain は不定詞の副詞的用法で〈目的〉を表す。

ここではインドからスパイスを持ち帰ったイギリス人が「カレー」という語を使いはじめた説を紹介しているが、16～17世紀にインドの西海岸を訪れたポルトガル人やオランダ人が使い始めたとの説もある。

11. This word comes from “kari,” the Tamil word for “a sauce or soup.” 「この言葉はタミル語で『ソ

ースやスープ』を意味する『カリ』という言葉に由来しています。」

come from A は〈物・事〉が主語の場合「A に起源がある、由来する」の意味。〈人〉が主語の場合は「～出身である」の意味になる。Tamil はここでは形容詞で「タミル語の」という意味。タミル語とは南インドのタミル・ナードゥ州を中心に話される言語で、スリランカ、シンガポール、マレーシアなどにも多くの話者がいる(→㉔p.26 TRIVIA を参照)。for は「～を表して、～を意味して」の意味。

ATM stands for Automatic Teller Machine.

(ATM は現金自動支払機の略称です。)

sauce は名詞で「ソース(料理・菓子にかける液状の調味料)」の意味。冠詞 a がついているのは料理の種類を表しているため、冠詞 a がない場合は物質の意味合いを含むことになる。ただし“a soup”の a ついては前の sauce に a がついていることでその意が伝わるため、省略可能(“a sauce” or “(a) soup”)。

「カレー」の語源についても諸説あるが、南インドで使われているタミル語が有力だといわれている。

## Part 2

- Question ⑧ What did Warren Hastings bring back to the UK in 1772?  
 Question ⑨ What happened at the beginning of the 19th century?

3) In the past, India was a British colony. I think you have learned about it in world history class. In 1772, Warren Hastings, a clerk in the East India Company, brought back rice and many spices from India.



Portrait of Warren Hastings

He created a new curry dish by combining curry with rice. His recipe was a great success. People in the UK loved it.

4) Since then, curry continued to be popular in the UK. At the beginning of the 19th century, the first curry powder appeared. Until then, people needed to work hard to mix the many spices to make curry. With the help of curry powder, people could make curry more easily and its popularity spread across the UK. Also, the British began to make curry thicker with flour. They used a recipe for stew, a traditional British food, to change curry to their own taste.

colony [kə(ː)lənɪ]  
 Warren Hastings  
 [wɔ(ː)rən hɛstɪŋz]  
 clerk [klɜːk]  
 success [səkˈsɛs]  
 powder [paʊdər]  
 mix [mɪks]  
 popularity  
 [pɒ(ː)jʊləˈrɪtɪ]  
 flour [flaʊər]

## TRIVIA

Warren Hastings 「ウォレン・ヘイスティングス」東インド会社社員。ベンガル知事を経て、1773年に初代ベンガル総督(のちのインド総督)に就任した。強硬な統治政策によってイギリスによるインド支配の基礎を固めた。



1. in the past I have been there many times in the past. 6. bring back A [A back] He brought back some cake for his kids. 12. at the beginning of A We are going to Canada at the beginning of July.  
 19. to one's (own) taste The music wasn't to my taste.  
 G-4 I have already eaten my lunch.

27

the first curry powder appeared.”

## 脚注英文の訳例

- かつて私は何度もそこに行きました。
  - 彼は子どもたちにケーキを持ち帰った。
  - 私たちは7月の初めにカナダに行く予定です。
  - その音楽は私の好みに合わない。
- G-4 私は既に昼食を食べた。

## 本文の解説

1. In the past, India was a British colony. 「昔は、インドはイギリスの植民地でした。」

in the past は「昔は」の意味。colony は名詞で「植民地」の意味。

18世紀初頭、インド進出をもくろむイギリスは、1764年にベンガル地方を植民地化すると、戦争によって領土を次々に拡大し、1849年にインド全域の植民地化を完了した。1877年にイギリス領インド帝国が成立し、1948年まで存続した。

2. I think you have learned about it in world history class. 「みなさんは世界史でそのことについて習ったものと思います。」

I think で始めることで、断定を避けた控えめな言い方になる。have learned は現在完了形で〈完了・結果〉を表し、「すでに習った(だから知っている)」という意味。it は前文を指している。

4. In 1772, Warren Hastings, a clerk in the East India Company, brought back rice and many spices from India. 「1772年、東インド会社の職員だったウォレン・ヘイスティングスがインドからお米と多くのスパイスを持ち帰りました。」

clerk は名詞で「社員」の意味。ウォレン・ヘイスティングスは東インド会社社員、ベンガル知事を経て、1773年に初代ベンガル総督(のちのインド総督)に就任した人物(→p.27 TRIVIAを参照)。bring back A [A back]は「Aを持ち帰る」の意味。A(目的語)が名詞の場合は両方の語順が可能だが、代名詞の場合はbring A backのみ可能。

8. He often ate curry with rice in India, so he wanted to eat it in the UK, too. 「彼はインドでよくカレーを米と共に食べていて、だから彼はイギリスでもそれをまた食べたいと思ったのです。」

Heは前文のWarren Hastingsを指す。soは接続詞で〈結果〉を表し、「それで、だから」の意味。eat itのitは同文内のcurry with riceを指す。

もともとインドでは米が主食の地方も多く、当時も多種のスパイスで味付けされた煮込み料理を米と混ぜて食べていた。そこにイギリスの商人達がどんどん移り住んでいった18世紀末、商売一本槍の彼らはインド人に対する人種差別感情もほとんど持たなかったら

## Part 2

## Oral Introduction

Now we know the British people began to use the word “curry” to call the Indian dishes. So we have the next question. Why the British people?

In the world history class, did you learn that Indian was once Britain's land? During that time, a British man brought rice and Indian spices back to Britain. After that, what happened in Britain? Let's read more about it.

## Question

〈訳例〉

3. ウォレン・ヘイスティングスは1772年にイギリスに何を持ち帰りましたか。

4. 19世紀の初めに何が起こりましたか。

〈回答例〉

3. He brought back rice and many spices.

4. The first curry powder appeared (which made it easier to make curry).

〈本文の該当箇所〉

3. ⑧p.27, l.4, “In 1772, Warren Hastings, a clerk in the East India Company, brought back rice and many spices from India.”

4. ⑨p.27, l.12, “At the beginning of the 19th century,

しく、インドの言葉を話し、インドの服を着て、地元の料理をコックに作らせて食べていたようだ。そこで彼らの多くがスパイスの効いた煮込み料理を米と混ぜて食べるという経験をするのだが、ヘイスティングスが滞在したベンガル地方は米が主食であり、ヘイスティングスも同様の体験をした。そこでヘイスティングスはスパイスと米を自国に持ち帰り、彼が関わったイギリスの王室での晩餐会にて、その煮込み料理を米と共に食すに至ったそうである。

**Other people in the UK tried it and liked it.** 「イギリスにいる他の人々もそれを試し、気に入りました。」

other は形容詞で「(不特定の)ほかの～」を表す。「ウォレン・ヘイスティングス以外のほかの人々」という意味。2つの it はどちらも curry with rice を指す。

**After that, curry gradually became popular throughout the UK.** 「その後、カレーはイギリスの至る所で徐々に人気になりました。」

that は前文の内容を指す。gradually は副詞で「徐々に」、throughout は前置詞で「～の至る所に」の意味。

カレーはまずイギリスの上流階級に広がり、その後、中流階級、労働者階級の順に広まったらしい。その広がりの後押ししたのが後述のカレー粉であることはほぼ間違いない。イギリスのクロス・アンド・ブラックウェル社がカレー粉を商品化したのは19世紀の初めだが、当時カレー粉に使われていた「ターメリック」というスパイスの輸入量が1820年以降の40年間で3倍に増加したという記録や、1850年以降のイギリスの料理本のほとんどのインド料理のレシピに「カレー粉」が登場することからも窺える。

**12. At the beginning of the 19th century, the first curry powder appeared.** 「19世紀の初めに、初のカレー粉が登場しました。」

powder は名詞で「粉」の意味。at the beginning of A は「Aの初めに」の意味。範囲表現の at the end of A 「Aの終わりに」も併せて押さえておきたい。

カレー粉はイギリスのクロス・アンド・ブラックウェル社(C&B)がはじめて開発・商品化した。同社は18世紀初頭から貴族のパーティやイベントでの宴会を請け負う企業だったが、顧客の注文に応じてさまざまなカレー料理を提供するうちに、イギリス人の口に合うスパイスの調合法などのノウハウを蓄えていった。その知識と技術を活かして、より手軽にカレーを作るための商品の開発に着手し、成功したのである(→補充資料集 p.11)。

**13. Until then, people needed to work hard to mix the many spices to make curry.** 「それまでは、カレーを作るにはたくさんのスパイスを混ぜるために苦労しなければなりませんでした。」

then は前文を指す。mix は動詞で「(2つ以上のもの)

のを混ぜる」の意味。

**14. With the help of curry powder, people could make curry more easily and its popularity spread across the UK.** 「カレー粉の助けによって、人々はより簡単にカレーを作ることができるようになり、そしてカレー粉の人気はイギリス中に広がりました。」

with は前置詞で「原因・理由」を表す。

With such experience, he is sure to win.

(あれだけ経験があるから、彼はきっと勝つ。)

popularity は名詞で「人気」の意味。across は前置詞で「～の至る所で」の意味。

Sunshine is expected across the northeast.

(北東部一帯にかけては晴れるでしょう。)

**16. Also, the British began to make curry thicker with flour.** 「また、イギリスの人たちは小麦粉を使いカレーをより濃く作り始めました。」

the British は(the) British people のことで、the + 国名形容詞で国民全体を表す。make は使役で、make + O + C の形。Cにあたる形容詞 thick は比較級 thicker の形になっている。前置詞 with は「道具・手段」を表し、「～を使って」、flour は名詞で「小麦粉」の意味。

**18. They used a recipe for stew, a traditional British food, to change curry to their own taste.** 「彼らはカレーを彼らの好みに合わせるために、イギリスの伝統料理であるシチューのレシピを活用しました。」

they は前文の the British を指す。a traditional British food は stew と同格関係。to one's(own) taste は「～の好みに合った」の意味。to the taste of A で書き換えが可能。

Part 3

- Question ⑤ When was curry powder imported to Japan?  
Question ⑥ Why was curry ideal for soldiers?

sail [seɪl]  
era [ɪərə]  
import [ɪmˈpɔːrt]  
price [praɪs]  
surprisingly [səˈpraɪzɪŋli]  
military [mɪlɪtəri]  
adopt [ədɒpt]  
soldier [səʊldɪə]  
ideal [aɪdiəl]  
amount [əˈmaʊnt]

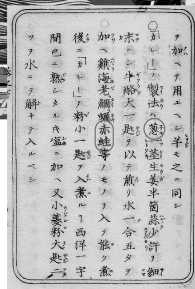
- ⑤ British curry later sailed across the sea and came to Japan. Early in the Meiji era, Japanese people first imported curry powder and started to make curry. At that time, curry was an expensive dish. For the price of a plate of "curry and rice," a person could eat eight bowls of *soba*. Also, in those days, curry was a little strange. Surprisingly, people put long green onions and frog meat in it!
- ⑥ Since the late Meiji era, curry has been popular all over Japan. Some people say it is because the Japanese military adopted curry as a food for its soldiers. Curry was an ideal food for soldiers living in large groups because they could make it in large amounts. When the soldiers went back home, they took the recipe for curry with them. Because of this, curry became popular in many parts of Japan.



6. in those days In those days, everything was expensive. 10. it [that] is because ~ She passed the test. It's because she studied hard. 13. in large amounts He ate chocolate in large amounts. 14. go back home She went back home to see her family. 15. because of A I was late because of the rain.  
G-4 He has been in the kitchen for three hours.  
G-3 The girl eating ice cream is my sister.



Japan in the early Meiji era



The first recipe for curry in Japan (西洋料理指南, 1872)



Curry made from the 1908 military recipe

Part 3

Oral Introduction

In the last two parts, we read about how curry was brought to Britain from India. In this part, we'll see the history of curry in Japan.

Curry came to Japan from Britain in the Meiji era. You'll be surprised to see how people cooked it. It's very different from now. Also, we'll see how curry became popular all over Japan. Let's read about the history of curry in Japan.

Question

<訳例>

5. カレー粉はいつ日本に輸入されましたか。  
6. なぜカレーは兵士たちにとって理想的でしたか。

<回答例>

5. It was imported early in the Meiji era.  
6. Because they could make it in large amounts.

<本文の該当箇所>

5. 教p.28, l.2, "Early in the Meiji era, Japanese people first imported curry powder and started to make curry."  
6. 教p.28, l.11, "Curry was an ideal food for soldiers living in large groups because they could make it in large amounts."

脚注英文の訳例

6. 当時はすべてが高価だった。  
10. 彼女は試験に合格した。なぜなら彼女は一生懸命勉強したからだ。  
13. 彼は大量にチョコレートを食べた。  
14. 彼女は家族に会うために帰宅した。  
15. その雨によって私は遅刻した。  
G-4 彼は3時間キッチンにいます。  
G-3 アイスクリームを食べている女の子は私の姉[妹]です。

本文の解説

1. British curry later sailed across the sea and came to Japan. 「後に、イギリスのカレーは海を渡り日本にやってきました。」

sail は動詞で「(船・人が)航海[航行]する、渡る」の意味。across は前置詞で「～を渡って」の意味。  
教p.27, l.16 の across と意味が異なるので比較したい。

カレーがいつ、どの地方から日本へ伝わったのか具体的なことは分かっていないが、少なくとも1858年の日米修好通商条約締結によって日本が開国した後のことだろうと考えられる。1872年(明治5年)には西洋料理本が出版され、そこにカレー粉を使ったカレーのレシピもあり、その手順には小麦粉を入れる指示もある(→教p.29 左下図、補充資料集 p.14)。

2. Early in the Meiji era, Japanese people first



imported curry powder and started to make curry.  
「明治時代の初めに、日本人はまずカレー粉を輸入し、そしてカレーを作り始めました。」

era は名詞で「時代」、import は動詞で「～を輸入する」の意味。start は動名詞も不定詞も目的語とする。

3. At that time, curry was an expensive dish. 「当時、カレーは高価な料理でした。」

1883 年(明治 16 年)に鹿鳴館が開設され、日本の洋風化が進んでいくなか、1886 年(明治 19 年)には風月堂がライスカレーを八銭で売り始めた。当時はモリソバが一銭で売られており、その八倍の値段であった。

4. For the price of a plate of “curry and rice,” a person could eat eight bowls of *soba*. 「カレーライス一杯の値段で、八杯のそばを食べることができました。」

前置詞 for は等価・交換を表して「～と交換で、～の金額で」の意味。price は名詞で「(品物の)価格」という意味。a person は「(不定の 1 人の)人」を表す。bowl は「どんぶり、わん」などの深い半球状の器を洗わす言葉。a bowl of A で「(どんぶり・わん) 1 杯の A」の意味を表す。

6. Also, in those days, curry was a little strange. 「また、当時は、カレーは少し変わっていました。」

in those days は「当時は」の意味。①3 の at that time と同義。関連表現に these days 「最近」があるが、これは these(直近のものを指す)と those(離れたものを指す)の意味の違いに由来する。a little (bit) は「少し、ちょっと」の意味の副詞句。通例、否定的評価を暗示する形容詞を修飾することが多い。

a little nervous (少し緊張した)

a little expensive (少し高い)

a little surprised (少し驚いた)

7. Surprisingly, people put long green onions and frog meat in it! 「驚いたことに、人々は長ネギやカエルの肉を入れていました!」

surprisingly は分修飾副詞で「驚いたことに」の意味。It is surprising that ... の形で書き換え可能。put はここでは「入れる」の意味で、料理でよく用いられる動詞である。

Put onion into the pot and fry.

(タマネギを鍋に入れて炒めなさい。)

日本の「長ネギ」に近いネギは a (long) green onion, a spring onion, a Welsh onion, a Japanese leek などと呼ばれる。long green のように複数の形容詞を組み合わせる場合の順序は、一般的に(1)冠詞および人称代名詞・名詞の所有格、(2)数量、(3)主観的な判断(beautiful, pretty など)(4)大小や長短、(5)年齢や新旧、(6)色、(7)材料や出所の順となる。

frog meat について、beef 「牛肉」、pork 「豚肉」、chicken 「鶏肉」、mutton 「羊肉」などのように、食

肉を表す専用の名詞がない場合は〈動物名 + meat〉で表記する。

horse meat (馬肉)

kangaroo meat (カンガルーの肉)

crocodile meat (ワニの肉)

レシピについて、②p.29 左下図(The first recipe for curry in Japan)を参照されたい。

9. Since the Meiji era, curry has been popular all over Japan. 「明治時代の終わりから、カレーは日本中で人気です。」

has been は〈継続〉の意味を表す現在完了形で、the late Meiji era を始点として、それ以降カレーが一般的になっている状態を表している。late は「末期の、後期の、後半の」などの意味を表す形容詞。反意語は early 「初期の」。

10. Some people say it is because the Japanese military adopted curry as a food for its soldiers. 「ある人は日本の軍隊がカレーを兵士のための食事として採用したことが理由だと言います。」

it[that] is because～は「それは～だからだ」の意味で、ここでの it は前文の “Since the Meiji era, curry has been popular all over Japan.” を指す。adopt は動詞で「～を採用する」、soldier は名詞で「軍人、兵士」の意味。adopt A as B 「A を B として採用する」のコロケーションに注意させたい。food は食べ物全般を指す場合は不可算名詞だが、種類を言うときは可算名詞になる。

Curry is one of my favorite foods.

(カレーは私の好物の一つです。)

帝国海軍の料理書には鶏肉を使ったチキンカレーが紹介されている。また、1910 年に帝国陸軍の全部隊に配布された『軍隊調理法』という小冊子にもカレーライスの作り方が書かれてある。『日本三大洋食考』では、カレーの普及について「地方の青年が入隊して、軍隊でカレーの作り方を覚えて、それを農村に持ち帰った。…ちかごろ、農村ではライスカレーが流行っている」と記述がある。

11. Curry was an ideal food for soldiers living in large groups because they could make it in large amounts. 「兵士たちがカレーを大量に作ることができたので、大人数で生活する兵士たちにとってカレーは理想的な料理でした。」

ideal は形容詞で「理想的な」の意味。living in large groups は分子節で soldiers を修飾している。amount は加算名詞で「量」の意味。in large amounts は「大量に」の意味。amount を修飾する形容詞は large, small など、bit, little は通例用いないことに注意されたい。

13. When the soldiers went back home, they took the recipe for curry with them. 「兵士たちが家に帰った際に、カレーのレシピを持ち帰りました。」